



平成28年2月23日

各 位

会社名 阪和興業株式会社
代表者名 代表取締役社長 古川 弘成
(コード番号 8078 東証第一部)
問合せ先 経営企画室長 相澤 卓也
(TEL. 03-3544-2000)

固定資産の譲渡及び特別損益の発生に関するお知らせ

当社は、平成28年2月23日開催の取締役会において、下記のとおり固定資産の譲渡について決議いたしました。また、これに伴い特別損益が発生する予定ですので、併せてお知らせいたします。

記

1. 譲渡の理由

当社は、これまで大型倉庫による在庫ダム機能と加工機能を鉄鋼事業の特色として展開してまいりましたが、昨今の鉄鋼ビジネスにおいて、鉄鋼メーカーによる直送取引が増加する中で、当社が推進する「そこか（即納・小口・加工）」戦略にも適合した首都圏を中心とした倉庫・物流機能の再構築を検討してまいりました。今般、群馬県伊勢崎市に新たな流通センターの建設用土地を取得するとともに、阪和流通センター東京(株)本社の機能の絞り込みと保管能力の適正化のために、下記の固定資産を譲渡することといたしました。

2. 譲渡資産の内容

資産の名称及び所在地	譲渡価額 (百万円)	帳簿価額 (百万円)	現況
阪和流通センター東京(株)本社 土地及び建物等の一部 (千葉県習志野市茜浜三丁目36番地)	18,846	6,389	物流倉庫

なお、当該資産の譲渡後、当社は譲渡先との賃貸借契約により、当面の間、当該譲渡資産を物流倉庫として引続き使用いたしますが、適正規模へ漸次縮小してまいります。

3. 譲渡先の概要

譲渡先の意向により、開示を控えさせていただきます。なお、譲渡先と当社の間には記載すべき資本関係、人的関係及び取引関係はなく、譲渡先は関連当事者にも該当いたしません。

4. 譲渡の日程

平成28年2月23日 取締役会決議
平成28年3月上旬 譲渡契約締結(予定)
物件引渡し(予定)

5. 今後の見通し

平成 28 年 3 月期決算においては、特別利益として土地部分の固定資産売却益 12,721 百万円、特別損失として建物部分の固定資産売却損 264 百万円を計上する予定であります。

また、当該固定資産の譲渡に伴い、過年度に計上した減損損失等について税務上の損金算入を行うこととなりますので、法人税等は約 5,000 百万円減少し、親会社株主に帰属する当期純利益に与える影響額は約 17,457 百万円となる見込みです。

なお、平成 28 年 3 月期通期業績予想につきましては現在集計中であり、確定次第速やかに公表いたします。

(ご参考) 新流通センター建設予定地の概要

- | | |
|-----------|--|
| (1) 資産の概要 | 土地 (伊勢崎宮郷工業団地内 26,700.00m ²) |
| (2) 所在地 | 群馬県伊勢崎市東上之宮町、田中町 |
| (3) 取得先 | 群馬県 |
| (4) 取得の日程 | 平成28年3月末 引渡し (予定) |

以 上